

社会福祉法人だんのさと  
(理念)

令和3年度事業報告

暖もりのある笑顔と  
思いやりの心があふれる  
和やかなわが家

(基本方針)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

1 経営基盤の安定化

- ① 中長期計画の策定し、職員への周知を図る
  - ・管理者会議等で収支等を報告し、各事業所の稼働率アップに取り組み
- ② 法人組織の体制整備
  - ・執行理事として専務理事、常務理事を指名及び職務執行状況等の報告
- ③ 人材の確保
  - ・離職率の多い中、各事業所の適性な職員配置を確保することが出来た
- ④ 経費の削減に努めた
  - ・備品、日用品等の購入に見積もりを徴し、品質、単価等を考慮し購入した
- ⑤ 人事異動
  - ・人事異動を施行し、各事業所の活性化を図った
- ⑥ 人事考課制度の導入
  - ・人事考課を施行するとともに、自己申告を徴し賞与等に反映した
- ⑦ 食事提供について
  - ・引き続き調理員を雇用して法人直営で食事提供する  
栄養士2名、常勤調理員3名、パート調理員8名で食事提供した

2 人材育成

- ① 人事考課制度による職員育成と人材活用
  - ・適材適所の職員配置を実施した
- ② 自己申告等による職場改善意識の向上
  - ・人事異動
  - ・現在の業務内容
  - ・現在の職場について
  - ・能力開発について
  - ・目標

- ・仕事・職場への意見、提案
- ③ 資格取得のための研修会への参加
  - ・社会福祉士合格 0名
  - ・介護福祉士合格 1名
  - ・手話教室の開催 コロナウイルス感染を考慮し中止とした
  - ・小規模多機能施設管理者資格 3名
  - ・小規模多機能施設介護支援専門員資格 3名
- ④ チーニング研修を毎月実施 職員 11名受講
- ⑤ 研修実施 別紙資料

### 3 求められる施設づくり

- ① 人材確保の検討を行う
  - ・採用活動の強化
- ② 自己申告等による職員ニーズの把握及び執行理事による面談により職場環境づくりに反映した
- ③ 入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和み会」「談話会」を毎月開催し、情報提供や入居者から提案、意見、要望を聞き、施設運営に活かし、信頼関係を構築した
- ④ 嗜好調査を実施し、献立に反映させた 非常食の備蓄を2日間確保
- ⑤ 毎月給食委員会を開催し、食事内容・要望等を協議し、献立に反映した
- ⑥ 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービスの質の向上を図る
- ⑦ 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ機器の導入によるカラオケ、園芸、将棋、野菜づくり、釣り等）、レクリエーション等を実施した
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。昨年度は全職員にインフルエンザ予防接種は実施しなかった。

### 4 地域との連携を図る

※ 地域交流はコロナ感染が流行したため実施できなかった。

- ① 湖南地区広域総合火災避難訓練の開催
- ② 手話教室に地域住民参加 コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ③ 納涼祭の開催 コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ④ 地域交流バーベキュー
- ⑤ 法人広報紙「だんのさと」年1回発行し、地域、関係機関へ送付
- ⑥ 学生の実習受け入れ コロナウイルス感染を考慮し中止とした
- ⑦ 認知症サポーター養成講座を開催し地域への貢献を図る
- ⑧ こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える
- ⑨ 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティアの活用、湖南学園、保育園の交流を図り、入居者の生活に潤いをもたらせた
- ⑩ 「防火設備の定期検査」結果を市へ報告
- ⑪ 「特殊建築物の定期調査」結果を市へ報告

# 令和3年度 事業計画報告

名：ケアハウス暖の里(本館)

計画項目	具体的な内容
施設の理念	暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家
施設の基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 温和で笑顔あふれる施設の実現</li> <li>2. その人らしい充実した生活の支援</li> <li>3. 地域との共生によるふくしの実現</li> <li>4. 人間性豊かな福祉人材の育成</li> <li>5. 活力ある経営の実行</li> </ol>
施設の目標	<p>(1) 笑顔と挨拶の徹底を図る。      (2) 生活環境を創る      ○「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして      「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現      ※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。</p> <p>【コロナ感染症対策のため、ボランティア団体・小中学生による演奏等実施しませんでした。】</p>
利用者へのサービス提供	<p>①入居者一人一人の意向を尊重し、介護サービスの実施に心がけるなど総合的な福祉サービスの向上に努める。      【居宅介護支援事業所及び、訪問介護・小規模多機能事業所と連携し、必要なサービスを実施しました。日常生活の要望等も随時聞き改善を図りました。】</p> <p>②入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和み会」を毎月実施し、入居者からの意見・要望をお聞きし、可能な限り実行することにより、施設で安心して生活が送れるように努める。      【和み会を毎月1回開催し、入居者よりご意見や要望を聞いています。環境改善や生活の質の向上につながる内容について、早急に対応すると同時に可能な限り改善しています】</p> <p>③余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ・将棋等）・レクリエーション等を実施する。      【カラオケを少人数で実施していたが、コロナ感染対策のため1月より休止しています。その他、季節に応じたレクリエーション活動もコロナ感染対策のため実施できませんでした。移動図書の来所は好評でした。】</p> <p>④体操等を実施し、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。      【体操は毎日実施しました。また自主的に施設周辺を散歩するなど生活リハビリに努めました。】</p> <p>⑤入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して相談に応じるとともに、適切な助言等を行い心身の安定に努める。      【環境・設備・対人関係等の苦情がありましたが、相談員を中心に全職員で速やかな解決・改善に努めました。】</p> <p>⑥施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。      【入居者には配布、ご家族には送付でアンケートを実施しました。集計結果は、館内に掲示し、ご家族には郵送でお知らせしました。】</p>
給食(食育)	<p>①調理外部委託から暖の里本館直営(100食調理)にして、新館へ50食を配送する。      【厨房が直営となり、ご利用者の病状に応じた食事の対応が、迅速に対応できるようになりました。】</p> <p>②食事は、入居者の楽しみであり誕生会等の行事食、旬の料理等変化に富んだ食事の提供に努める。      【毎月、誕生会食を提供しました。また季節に応じた行事食も提供しました。さらには、主菜を選んでいただく食事も提供する等、入居者に楽しんでいただきました。(セレクト食)】</p> <p>③入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努めるとともに食事が楽しめる雰囲気</p>

	<p>作りに配慮する。</p> <p>【栄養士の栄養相談及び、入居者の嗜好を可能な限り取り入れ、個別対応を行いました。また疾病による食事対応も行いました。】</p> <p>④嗜好調査を年度末に実施し、翌年の献立に反映させる。</p> <p>【嗜好調査を実施しました。好評な回答が多かったですが、引き続き栄養士と厨房職員を中心とした、より満足度の高い食事提供に努めます。】</p> <p>⑤給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。</p> <p>【毎月委員会を実施しました。本館・新館・厨房の意見を基に栄養面及び盛りつけ等も協議しました。見た目も、味もおいしくする工夫を話し合いました。】</p>
衛生管理・環境	<p>①嘱託の寺岡医師との連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活を頂けるよう努める。歯科については、往診可能な歯科医院に対応依頼している。</p> <p>【寺岡医師の往診を中心に、各入居者かかりつけ医院との連携を図っています。また日中、近隣の事業所にディサービスに通うことで、日中活動を充実し健康維持が図れるように支援しました。】</p> <p>②健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院等迅速・適切な対応を行う。</p> <p>【体調不良の方へ迅速な対応を行いました。日々の様子観察や、必要に応じ居室訪問を定期的に行い、異変の早期発見、早期対応に努めました。】</p> <p>③インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症防止体制の充実を図る。</p> <p>【インフルエンザ・ノロウイルスの発症はありませんでした。日頃のコロナウイルス感染対策でマスク着用・消毒実施が感染予防につながっています。】</p> <p>④新型コロナウイルス感染症予防に努める。</p> <p>【コロナウイルス対策として、次亜消毒を1日、2回実施しました。年度後半、より消毒効果が確実なアルコール消毒に変更しました。また、面会・外出制限、入館禁止を実施しました。必要な入館者(訪問看護・PT・OT等)は検温・アルコール手指消毒を実施し入館しました。】</p>
安全対策・事故防止	<p>①救急法講習会・AED操作講習会等を実施し、緊急時に応える体制にする。</p> <p>【コロナ感染症対策のため、館内での講習や行事は行いませんでした。しかし救急救命法は実施しました。】</p> <p>②地震や火災等の災害を想定した避難訓練に組織全体で取り組み年3回実施する。</p> <p>【年3回の避難訓練は実施しました。速やかな避難誘導を行う事ができるように様々な状況の訓練を想定して実施しました。】</p>
保護者・家族への支援	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。</p> <p>【年1回の発行を実施し、家族等に送付しました。】</p> <p>②入居者の方の近況報告を年2回行い、面会疎遠の方に対しても支援の連携を図る。</p> <p>【コロナ感染症対策のため、面会を禁止しました。ただし定期・不定期通院の際に現状報告をしています。また体調の変化があった時は適宜報告しました。さらに施設プラン作成時に、本人、ご家族の要望をお聞きし、作成したものを送付しています。】</p> <p>③施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。</p> <p>【入居者・家族にアンケートを実施している。アンケート結果は、要望に対する回答も含め、館内に掲示するとと共にご家族にも郵送している。】</p>
地域との連携 (地域貢献)	<p>①法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。</p> <p>【年1回の発行を実施しました。施設の行事等を掲載し地域に配布することで、地域住民に施設の理解の促進を図りました。】</p> <p>②地域の自治会等と連携し、防災等で協力していく。</p> <p>【コロナ感染対策のため、合同訓練等の実施しませんでした。】</p> <p>③施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたらせる。。</p>

【コロナウイルス感染症予防のため、地域交流に関わる行事への参加及び館内での交流は実施しませんでした。】

④学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。

※地域への貢献として生活困窮者への生活支援の推進

【コロナウイルス感染予防のため、実習生の受け入れを自粛しました。】

経営管理	<p>①入居率100%確保を目指している。 【入所者リストを作成し退去後の入所がスムーズになるように努力した。しかし二人部屋があり、どうしても空室が生じました。】</p> <p>②病院地域連携室、地域包括センター等の定期的訪問と情報交換を図りながら入居者確保に努める。 【日々の業務で、病院、地域包括、居宅介護、他事業所と情報共有を図りながら待機者の確保に努めました。】</p>
施設・整備	<p>①職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。 【照明、冷暖房の適切な運転に努めました。備品の確認も過剰な在庫とならないように点検し発注しました。】</p> <p>②各種機械、設備の定期点検、補修に努める。 【老朽化に伴い故障物品が増えてきました。点検をしながら機器の異常を早期発見し、大規模修繕にならないようにしました。】</p>
職員管理	<p>職員研修の推進</p> <p>①施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。 【コロナ禍のため、出張研修には参加できませんでしたが、オンライン研修は参加しました。】</p> <p>②職員の資格取得にチャレンジしていく。 【資格取得に向けて情報提供を行いました。資格取得はありませんでした。】</p> <p>③職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。 【毎月職員研修を実施しました。併せて各委員会も開催し情報を共有しました。】</p> <p>④施設長と職員の意思の疎通を図るために個々に意見交換会を実施する。 【施設長と職員間で面談を実施しました。また随時話し合いを実施し意思疎通を図りました。理事長との面談も実施し法人の状況も知ることができました。】</p>
資金計画	別紙予算書

# 令和3年度 事業報告書

ケアハウス暖の里新館

## 基本理念

暖もりのある笑顔と 思いやりの心があふれる 和やかなわが家

### (1) 運営方針の基本

- 溫和で笑顔あふれる施設の実現
- その人らしい充実した生活の支援
- 地域との共生による福祉の実現
- 人間性豊かな福祉人材の育成
- 活力ある経営の実行

### (2) 入居者の処遇・プライバシーへの配慮

- ①新館心得として、「笑顔とあいさつ」と「明るく楽しく」を前面に打ち出し笑顔あふれる施設の実現に努力し、ご家族や来館の方についても「笑顔」で対応し、電話の受け答え方についても改善されている。
- ②入居者の生活と人権を擁護するために、プライバシーを尊重し、公平かつ公正な開かれた施設の実現のために、入居者の方からのご意見をお聴きする「だんわ会（毎月第1土曜日）」を実施して、四季に応じた施設の行事や運営等を説明できる場の設定と入居者からの要望・苦情等のご意見を自由に発言できる場を設けている。だんわ会を重ねる毎に入居者の参加も増えており、職員は、意見を聞きだす立場で参加し、質問・要望等についての回答できる部分はその場で行い、検討する問題については後日職員間で話し合い、入居者用「掲示板」に質問・要望内容、回答内容を開示して周知を図っている。  
また「すぐやる課」を継続し、修繕、要望意見、相談事に対して速やかに行うよう配慮している。

### ③生きがいのある生活の場としての環境作り

#### ア 穏やかで心豊かに暮らすためのイベントの実施

誕生会には誕生者のテーブルに一輪挿しで生花を置き、潤いのある誕生会にするために、職員による歌の演奏会を実施しささやかなプレゼントを贈っている。さらに「希望外出」を上期（4月～9月）、下期（10月～3月）に分けてショッピング・ドライブ・故郷訪問等希望に応じて、楽しみのある生活の場として外出を実施した。

#### イ 共通の趣味・興味を通して生きがいを見出せる活動の支援の実施。

湖山池畔で毎月1回（5月～10月）グランドゴルフ大会を実施し優勝を目指し楽しんでおられ、参加者も増えつつある。また毎週火曜日午後にカラオケを楽しむよう取り組んだ。趣味の手芸で行事等の飾りつけや園芸の協力で玄関前に植物・花を飾って頂いた。

#### ④きめ細やかなサービス提供と自立の推進

身体的、精神的特性に応じた自立のための生活援助及び栄養助言として、ケアマネージャー・ヘルパー・生活相談員・介護職員・栄養士で連携を図り、自立への可能性に向けて生活支援を実施した。食事に関しては、業者委託から法人業務に移行し目立った混乱もなく温かい食事の提供に務めている。食生活においても嗜好調査を行い、入居者のニーズに合った献立により食事を提供した。

#### ⑤第三者による施設サービス評価

第三者評価の受審は今後の検討課題であるが、まず入居者の施設利用アンケートを実施し、入居者からの要望・意向に対してのサービス内容の改善を図ったうえ受審したいと考えている。また家族等へのアンケートも実施し要望に応じて対応した。

### (3) 職員待遇の充実・士気高揚策・職員研修の実施。

#### ①職員が楽しく働きやすい環境を作る。

- ア 職員個々のコミュニケーション能力向上を図るために接遇研修を実施した。
- イ 職員の不安軽減を図るため、個別に話し合いの場を設定し、日頃からコミュニケーションが取れるよう不安解消に努めた。

#### ②安全と安心した生活のサービス提供をするために、各種委員会（苦情解決・事故対応・虐待及び身体拘束・感染症対策・給食委員会等）等を開催し、職員会で研修報告や事例検討し周知を図った。

#### ③法人の施設長会・管理者・事務担当者会議を開催し、会議内容について職員に報告し情報共有を図って頂いた。

#### ④質の高い福祉サービスを提供を図るため、社会福祉の専門職としての専門知識の習得と技術向上を目的に各種研修に参加し職員会議で復命研修を行う。

#### ⑤昨年同様に基本理念の実現に向けた「法人だんのさと中・長期計画」を策定し、当計画に基づいた単年度計画を策定して取組みを継続実施している。さらに、営業推進会議も開催し、安定した経営基盤を図るため、入居者確保の検討と関係機関との連携を行っている。このことにより、利用申し込みが増加してきている。

### (4) 地域開放、貢献等

地域の方との交流を深め、共に支えあい地域社会の中で積極的な役割を担うため、次の活動を計画した。

#### ①ケアハウス納涼祭に地域住民をご招待

湖南地区自治会、湖南地区公民館、湖南学園、湖南保育園等の参加案内を行い多くの地域住民の方々の参加と交流を深める。

#### ②湖南地区サークル活動グループの参加もあり納涼祭も盛大に地域の方々、利用者も楽しいひとときを過ごして頂く。

#### ③地域行事への参加

湖南地区運動会、湖南地区納涼祭、湖南地区文化祭等に参加し、交流を深める。

以上の事を計画していたが新型コロナウイルスの関係で感染防止や接触を避けるために地域との交流は出来なかつたことは誠に残念でした。

(5) 秘密保持（職員及び過去に職員であった者に対する入居者等の秘密保持の徹底）

職務上知り得た個人情報は外部へ漏洩してはならないことであり、「個人情報保護に関する誓約書」を全職員から徴取し、職員に周知を図っている。

(6) 入居者待遇に係る事故発生の対応

職員は日頃から意識して「ヒヤリハット」報告を随時職員間で話し合いを行い  
事故防止対策を図っている。事故発生時には速やかに事故報告を鳥取市に提出している。  
また年3回のリスクマネジメント委員会で報告し法人全体で防止対策を検討している。

(7) 施設の特徴、セールスポイント

- ①入居者の人権を尊重し、心豊かな生活を過ごして頂くために、明るく笑顔を絶やさず、  
思いやり・真心を込めて接する事で、安全で健康的な暮らしが出来るようサポートしている。
- ②清潔できれいな温泉と四季折々の食材を使用したお料理を提供しています。

令和3年度行事一覧

実施月	行事内容		
4	5・7 花見ドライブ	14 抹茶の会	
5	3 DVD鑑賞会	10 グランドゴルフ	19 生け花
6	3 ちまき作り	10 ホタル観賞	
7	2 七夕飾り	7 生け花	15 コロナワクチン1回目接種
	14 グランドゴルフ	17 DVD鑑賞会	30 コロナワクチン2回目接種
8	11 抹茶の会	18 セレクト食	20 納涼行事
9	15 グランドゴルフ	17 敬老会祝賀会	
10	6 グランドゴルフ（白兎コース）	11 生け花	13 避難訓練
	20 抹茶の会	26 不在者投票（衆議院）	26 結核検診
11	5 グランドゴルフ	18・22 紅葉ドライブ	19 インフルエンザ予防接種
12	12 ゆず湯	22 クリスマス会	28 餅つき
1	5 抹茶の会	12 初詣	31 年末大掃除
2	2 節分豆まき	2 運動会	17 コロナワクチン3回目接種
3	3 ひな祭り	17 抹茶の会	28 救急救命講習会
その他	毎日：リハビリ体操	毎週火曜日：カラオケ	隔週水曜日：唱歌
	毎週水曜日：訪問販売	第2・4木曜日：寺岡往診	第1土曜日：だんわ会
	毎金曜日：暖喫茶	第3月曜日：誕生会	

月別利用状況（毎月 1 日現在）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	利 用 率
男性	17	17	16	17	18	18	18	18	18	19	19	19	214	%
女性	33	32	32	32	32	32	32	31	30	30	30	30	376	%
計	50	49	48	49	50	50	50	49	48	49	49	49	590	98%

利用者年齢状況（令和 4 年 3 月 31 日現在）

	70歳 未満	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95～ 99歳	100 歳以上	計	平均 年齢
男性	3	1	4	8	2	1	0	0	19	78.9
女性	1	1	0	8	6	13	1	0	30	89.4
計	4	2	4	16	8	14	1	0	49	85.3

利用者介護度状況（令和 3 年 3 月 31 日現在）

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	平均 介護度
男性	3	4	6	3	2	1	0	0	要支援 1
女性	3	1	4	12	7	3	0	0	要支援 2
計	6	5	10	15	9	4	0	0	要支援 2

※令和 3 年度も新型コロナウイルス禍の中、感染対策から始まり施設・利用者・職員の健康を優先に感染者を出さないよう基本的予防対策を徹底した。

施設内外の行事も計画したものの、変更や中止に追われた 1 年であった。

また衛生面に気を配り、利用者の日々の生活環境を考慮した上で様子観察に努め、職員にも検温・消毒等同様とした。

内外の研修会に於いても延期や中止が多く見られた。

地域との交流行事も安全を優先し実施出来なかった。

利用者の理解を頂いた上で感染を避けるため面会の制限や外出の規制にも協力して頂き職員で対応した。

次年度も感染が収まらない限り、事業の見直しや新しい生活様式を考慮し状況に応じた運営を再検討する必要と思われる。

1 さとに 暖の里

(1) 施設の現況及び今後の対応課題等

① 安定経営に向けて。

令和4年3月31日現在 登録者25名に対し22名。令和4年5月中に登録者数は25名になる予定。30年4月スタート時は22名。昨年度同様、こやま包括、日赤要支援の方がご利用できる体制にしたこともあり包括からの紹介が増えたように思う。

東里仁地区、世紀団地地区のご利用者ではなく、吉岡を中心に浜坂、賀露、伏野、下味野、行徳、などエリアも拡大してきた。※浜坂と東今在家は理由あり。訪問件数が200件弱という状況もあり日中、スタッフが拡散することもあり通いの利用者様に対してのケアをどう行うのか課題が出てきている。

② 業務の効率化

29年度より機能訓練を取り入れ実施している。機能訓練を目当てに利用される方も多くサービスの1つとして一定の成果を見せていている。前途でも述べたように利用者様のエリア拡大、業務の多様化に伴い、来年度は業務の整理を進めていくことが必要となってくると思われる。離職率を下げずにスタッフに継続して働いていただく取組みを行う必要が課題として挙げられる。

29年度より記録の電子化を図りケース記録等をパソコンで記録するように行った。スタッフの記録業務の時間帯と担当を明確にすることにより利用者様のケアを行う時間帯を伸ばせられたことと記録業務の時間短縮も行えた。

軽自動車2台と普通車1台で業務をおこなっている。今の状況は問題なく

③ スタッフのレベルアップ。

平成29年度も28年度と同様、スタッフの退職、体調不良等がありその日その日の業務を回すことで手いっぱいだった。必要な研修にはなるべく参加ができるよう手配をしていきたい。

資格取得者が少ないという現状もあり取得に向けての面談を行う必要もある。

(2) 主な行事

※別紙参照

令和3年度 事業報告書 様式

(3) 年度末の利用状況

①入居者（利用者）定員： 25 登録者数： 22

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	1	1	1	2	0	1	0	0	6	73.3
女性	1	0	3	2	4	5	1	0	16	88.3
計	2	1	4	4	4	6	1	0	22	86.1

②入居者（利用者）介護度状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男性	1	0	1	1	3	0	0	6	3.3
女性	1	3	3	4	2	3	0	16	2.2
計	2	3	4	5	5	3	0	22	2.4

①月別利用状況

ア（さとに 通所）【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	295	9.8	71
5月	31	308	9.9	72
6月	30	295	9.8	78
7月	31	318	10.2	77
8月	31	333	10.7	86
9月	30	354	11.8	88
10月	31	369	11.9	87
11月	30	369	12.3	90
12月	31	368	11.8	88
1月	31	363	11.7	87
2月	28	362	12.9	90
3月	31	394	12.7	92
計	365	4128	11.3	87

イ（さとに 宿泊）【延べ利用者数】

令和3年度 事業報告書 様式

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	121	4.0	81
5月	31	139	4.4	84
6月	30	103	3.4	78
7月	31	123	3.9	80
8月	31	122	3.9	84
9月	30	132	4.4	82
10月	31	120	3.8	80
11月	30	116	3.8	78
12月	31	119	3.8	79
1月	31	136	4.3	81
2月	28	147	5.2	79
3月	31	134	4.3	76
計	365	1512	4.1	80

イ(さとに ヘルパー)【延べ利用時間数】

月	営業日数	件数	1日平均
4月	30	184	6.1
5月	31	191	6.1
6月	30	194	6.4
7月	31	206	6.6
8月	31	237	7.6
9月	30	236	7.8
10月	31	243	7.8
11月	30	236	7.8
12月	31	252	8.1
1月	31	258	8.3
2月	28	237	8.4
3月	31	265	8.5
計	365	2739	7.5

## 年間行事予定

月	行事内容	担当者
4月	お花見ドライブ	各職員
5月	こどもの日	各職員
6月	行事食	各職員
7月	七夕	各職員
8月	納涼祭	各職員
9月	敬老会	各職員
10月	紅葉狩り 松保展示会	各職員
11月	行事食	各職員
12月	クリスマス会 忘年会	各職員
1月	新年会	各職員
2月	節分	各職員
3月	ひな祭り	各職員

# 令和3年度事業報告書

デイサービスセンター暖の里

## 基本理念

- ・暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家

## 基本方針

- ・温和で笑顔あふれる施設の実現
- ・その人らしい充実した生活の支援
- ・地域との共生による福祉の実現
- ・人間性豊かな福祉人材の育成
- ・活力ある経営の実行

## ① 利用者の状況（令和3年度）

\*利用状況は年度中盤に利用者数が減り、全体的に減少しています。入院・亡くなる方等が続いたこともあります。年度後半は新規の方が、本館・新館ともありました。

\*総利用者数も2年2,229人　3年2,196人と33人の減少が見られます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者登録数	23	25	24	24	22	21	22	22	22	23	25	23
総数	183	180	186	207	193	178	173	181	188	180	168	179
%	83.2	85.7	84.5	94	87.7	91.4	82	82	85	90	84	78
支援1	1人	1人	1人	1人	1人							
支援2	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
介護1	10人	10人	9人	9人	9人	10人	11人	11人	10人	10人	10人	10人
介護2	8人	9人	9人	9人	7人	7人	6人	6人	7人	8人	9人	8人
介護3	3人	4人	4人	4人	4人	3人	4人	3人	3人	3人	4人	3人
介護4									1人	1人	1人	1人

## ② 行事一覧

\*年間を通してデイ喫茶を実施し職員と一緒に楽しんで頂いています。

\*降車をしない等コロナ感染にも留意し、ドライブを行い気分転換を図りました。

\*コロナ禍の影響もあり年間を通じ室内で行事を工夫し楽しんで頂くようにしました。

### \*日々のサービス

毎月の展示物の作成

季節の塗り絵

言葉探しクイズ

カレンダー作成

計算問題

月の歌

パズル

カラオケ

オセロゲーム

リハビリ体操

屋外の散歩

下肢体操

リズム体操

北国の春体操

タオル体操

レクレーション

ペタルこぎ

実施月	・誕生会は毎月お祝いをする。(プレゼントを用意)		
4	・デイ喫茶	・ドライブ（空港）	
5	・デイ喫茶	・ドライブ（白兎海岸）	・そら豆皮むき
6	・デイ喫茶	・ドライブ（布勢）	・ちまき作り
7	・デイ喫茶	・七夕飾り（7/5）	
8	・デイ喫茶	・カラオケ大会	・映画鑑賞
9	・敬老会（お楽しみ会）		
10	・デイ喫茶	・ドライブ（鹿野城址：10/12）	
11	・デイ喫茶	・ドライブ（河原城）	
12	・クリスマス（12/24）	・餅つき（本館合同）	
1	・初詣（賀露神社）	・すごろくゲーム大会（1/4～7）	
2	・豆まき	・バレンタイン	
3	・デイ喫茶	・ひな祭り	

### ③職員研修の取り組み

#### 施設内研修

月1回の職員会議の実施において、情報の共有・確認を行い常に利用者様に寄り添う支援が行えるように計画的に研修を実施した。

運営推進会議は9月（書面会議）、3月（書面会議）に開催しました。

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
4月13日	デイ職員会議	5月の計画・状況報告・入浴中の事故	全員	6名
5月18日	デイ職員会議	6月の計画・状況報告・口腔ケア	全員	6名
6月15日	デイ職員会議	7月の計画・状況報告・食中毒	全員	6名
7月15日	デイ職員会議	8月の計画・状況報告・高齢者虐待防止	全員	6名
8月23日	デイ職員会議	9月の計画・状況報告・法令遵守、ハラスメント対策	全員	6名
9月22日	デイ職員会議	10月の計画・状況報告・記録	全員	6名
9月末日	運営推進会議	地域密着型推進会議		9名
10月20日	デイ職員会議	11月の計画・状況報告・健康とレクリエーション	全員	6名
11月18日	デイ職員会議	12月の計画・状況報告・消毒、嘔吐物の処理	全員	6名
12月22日	デイ職員会議	1月の計画・状況報告・感染症、インフルエンザ	全員	6名
1月14日	デイ職員会議	2月の計画・状況報告	全員	6名
3月2日	デイ職員会議	3月の計画・状況報告・緊急連絡網の重要性	全員	6名
3月23日	デイ職員会議	4月の計画・状況報告・排泄介助	全員	6名
3月末日	運営推進会議	地域密着型推進会議		9名

#### 施設外研修

月日	研修名	研修・内容	参加人数	
8月4日	介護技術研修	夏の脱水対策	長谷川	1名
8月27日	介護技術研修	移乗の方法	吉田	1名
11月30日	記録研修	繋がる介護は記録～	吉田	1名

### 施設外研修

キャリアパス対応生涯研修	初任者コース（2名）：7月	管理者コース（1名）：11月
--------------	---------------	----------------

### まとめ

- ※
- ・年度後半は職員の異動もあり、利用者サービスが安定しなかった部分はありました。改めて笑顔で利用者を迎え、安心して満足いただけるデイサービスを目指して努力していきたい。
  - ・職員同士意見交換を図りながら、利用者一人ひとりに目を向け、協力・努力を重ねていきたい。
  - ・外部研修受講にも取り組み、スキルアップにつなげる。
  - ・月の職員会議後に内部研修を開催する、内容は職員持ち回りで実施する。
  - ・10名達成に努力します。（外部への営業、本館、新館での新規獲得）

## 令和3年 事業報告

ホームヘルプステーション暖の里

### (1)月別利用状況

<述べ利用時間数>

月	日数	訪問介護		総合事業		合計		平均介護度
		件数	時間	件数	時間	件数	時間	
4月	30	802	1050	131	131	933	1181	1.9
5月	31	835	961	110	110	945	1071	1.7
6月	30	845	959	108	108	953	1067	1.8
7月	31	899	1020	103	103	1002	1123	1.8
8月	31	885	1006	109	109	994	1115	1.8
9月	30	840	940	82	82	922	1022	1.9
10月	31	834	930	81	81	915	1011	1.9
11月	30	779	881	66	66	845	947	1.9
12月	31	844	955	69	69	913	1024	2
1月	31	882	987	93	93	975	1080	2
2月	28	769	860	88	88	857	948	1.9
3月	31	852	931	96	96	948	1027	1.9

### (2)職員研修

内部研修:毎月、行い全員に研修出来ました。当日欠席の職員には責任者が伝達研修を行いました。

外部研修:上田ヘルパー、坂口ヘルパーコーチング研修、キャリアパス研修に坂口ヘルパー(リーダーコース)、澤井ヘルパー(管理者コース)に参加。西村ヘルパー、上野ヘルパー、専門職研修に参加。

### まとめ

入退去、外部の利用者の施設入所等で8月から利用者数が減少しました。増減はありますが月の利用者数が70名を上回ったのは4月から7月までで、目標の70名を年間通してクリアすることが出来ませんでした。一人当たりの利用回数は増えても利用者数が減少したため、増収には繋がりませんでした。今後は外部利用者獲得、毎月の利用者が70名を維持出来るようにしていくたいです。(管理者が営業に回る、職員がスキルアップしていく)

## 令和3年度 事業報告書

層宅介護支援センター暖の里

令和4年4月30日

## ①月別利用状況（層宅支援）【延べ利用件数】

月	要支援			要介護						計	認定 調査
	1	2	計	1	2	3	4	5	小計		
4月	5	17	22	31	31	11	4	4	81	103	4
5月	5	15	20	31	31	12	4	4	82	102	5
6月	5	15	20	31	31	14	2	4	82	102	9
7月	4	16	20	29	32	15	3	3	82	102	6
8月	4	15	19	30	32	14	3	3	82	101	6
9月	3	15	18	29	33	15	5	1	83	101	6
10月	3	16	19	27	31	16	6	1	81	100	15
11月	4	14	18	29	29	15	6	1	80	98	15
12月	4	17	21	30	29	14	6	1	80	101	15
1月	4	17	21	31	29	14	6	1	81	102	9
2月	3	17	20	30	29	14	6	0	79	99	10
3月	3	17	20	30	29	13	6	0	78	98	14
計	47	191	238	358	366	167	57	28	971	1209	114

● 要支援 1に事業対象者含む

(今後の課題)